

# 第1回学校運営協議会 記録



- 1 日時 令和5年7月5日（水）午前10時00分から11時30分まで
- 2 会場 静岡県立池新田高等学校 小会議室
- 3 参加者 運営委員  
内山 尚也 様 中部電力株式会社 浜岡電子力発電所 総務部長  
水野 浩三 様 J A遠州夢咲農業組合 監査室 室長  
漢人 隆弥 様 御前崎市スポーツ協会事務局長  
鈴木 栄美 様 掛川特別支援学校御前崎分校 PTA 会長

学校職員

校長、教頭、学部主事、教務課長



## 4 内容

### (1) 校長挨拶

- ・本校運営協議会に、御参加くださりましてありがとうございます。本日は、学校経営についてお話をさせていただき、皆様の承認をいただきたいと考えています。忌憚のない御意見をよろしくお願いします。

### (2) 運営委員の紹介（委嘱状の任命）

### (3) 校内参観

- ・校内実習の様子を参観

### (4) 令和5年度の学校経営計画（本年度の取組）について ※学校より説明

#### ア <安全・安心>人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制と教育の充実

- ・自分自身の健康に関心をもち、心と体の健康を保てるよう指導している。性の指導に関しては、地域の関係機関の専門家と連携し思春期講座を計画している。
- ・安全教育、防災教育の推進について、教職員が訓練や研修をとおして危機管理マニュアルを確認し発災時に対応できるようにしている。生徒には自ら判断し行動できることも目指している。
- ・安全教育の一つである携帯電話使用について、課題や生徒間のトラブルもあるので、家庭と連携して取り組んでいるところである。
- ・「チーム御分」で取り組む体制づくりを目指し、組織的に動くこと、風通しのよい職場になることを進めている。

#### <運営委員より>

- ・風通しのよい職場づくりについて、生徒の問題があったときに先生方が共有できるシステムはできているか。また、（生徒が）言い出せないことはないのか。

(学校より)「学級担任→学年主任→学部主事→管理職」の流れで報告している。

日常の生徒の表情を見て、気になるときは個別に話を聞いている。友達同士の言葉の受け取り方の違いが原因でトラブルが大きくなることのないようにしている。そして、生徒の調子がよい時から対話していくことで、トラブルを未然に防ぎ、何かあったときにも担任に話ができるようにしている。

- ・不登校の生徒はいるか。(家庭訪問等は)時間の管理もあるので、動きにくいこともあるのではないかな。

(学校より) どのような環境になれば学校に登校できるか保護者と相談するが、どうしても難しい場合には、進路変更する場合もある。家庭訪問を試みて「やれることからやってみよう」と伝えたいと思っている。

- ・登校中にヘルメットをかぶることへの指導はどのようにしているのか。

(学校より)今は、ヘルメットを着用している生徒、していない生徒がいるが、努力義務なので保護者の判断に任せている。生徒には、ヘルメットをかぶる利点を伝えている。現場実習先からのヘルメット着用の要請もあるので、今後も安全指導を進めていく。

- ・高等部3年になる息子は、学校を休まず行っているので安心している。

## イ 授業 一人一人の自立と社会参加を目指した指導と授業づくり

- ・卒業後の夢の実現を目指して取り組んでいる。
- ・産業現場等における実習では、学校でできていることでも、実習先で汎化しきれていないことがあるので、実習先からの評価を教育活動に生かしている。
- ・主体的、対話的で深い学びのある授業の実現に向けて、「主体的に活動できているか」、「なぜ、今その活動をしているか」を生徒が気づき、実感できる授業実践を重ね、生活に生きる力を育てている。ICT機器の活用について、クロームブック、ipadに加え、スズキ教育財団様から寄贈された電子黒板を活用し、すべての授業で使用している

### <運営委員より>

- ・保護者との連携を具体的に教えてほしい。

(学校より)5月、9月、3月に個別面談、現場実習後に進路面談がある。この他、電話や連絡ノートを通して行っている。

- ・現場実習においての様子、課題等をどのように保護者に伝えているか。

(学校より)実習評価表(実習先で評価)は、挨拶、身だしなみ、仕事を進める力等について5段階の数値で評価が分かるようになっている。自分の得意なところや苦手なところ、また、その解決方法に気付くことができるので生活に生かすことができる。

- ・仕事をするにあたって、成人になったときの義務である選挙や給料をもらったあとの貯金等の話はどのように指導しているのか。

(学校より)「職業」の学習の中で指導している。「一人暮らし」をシュミレーションしたり、外部講師による消費者教育を実施したりしている。生徒の特性上、自分の生活に結びつけることが課題。この課題を教職員で周知して、生活に生きる内容を取り上げて指導しているところである。

- ・実習先の選び方についてどのようにしているのか。

(学校より) 保護者、生徒と話をしながら決めていくが、ジョブマッチングは大事であるので、卒業生の姿や実習先の資料をもとに、教職員、本人、保護者と相談して決めていく。

- ・(息子は) 今、1年生から数えて、4か所目の実習先で実習に行っている。見学に行き、様子を見たが、どこが本人に合っているのか模索中である。本人が行きたいと思うところを考えていきたい。

#### ウ <連携> 家庭、地域、関係諸機関との連携と地域と協働した学校づくり

- ・共生・共育として池新田高校と行事や授業(作業学習を主に)交流を行い、スクラムグッドマナー(挨拶運動)も共に参加している。
- ・地域との連携を積み上げてきた成果により、現在7か所の事業所や施設が生徒の地域作業(毎週金曜日)に協力いただいている。
- ・作業学習(木工芸作業、農園芸作業)、職業(清掃)、保健体育、道徳、家庭の授業(単元)の中に外部講師による授業を組み込み、生徒の学びを深めている。
- ・生徒の魅力発信については、保護者や地域の方々に活動をアピールするためにホームページの更新に力を入れている。

#### <運営委員より>

- ・(コロナが流行する)3年前にやっていたことを思い出しながら進めているので、漏れのないよう気を付けたい。イベントができるということは、学校の一体感も生まれてくるのでよい。
- ・地域に特別支援学校の存在を認知していない人もいるのではないかと。ホームページだけでは、認知が広がっていかないと思うので、ホームページ以外にもPRしていきたい

(学校より)販売会に向けて、生徒が自分たちで歩きながらポスター掲示やチラシ配りをしてPRしている。地域に認知されるように今後もやっていきたい。

- ・昨年度、地域販売会に行った。市民の方がたくさん来ている中、生徒が一生懸命にやっていた。



作業製品を手にとって見ていただいた

(学校より)市役所販売会を行った1回目(R3年度)はPR活動が不十分でお客様が少なかった。2年目(R4年度)は、その反省からPR活動(チラシ配り、ポスター掲載)が必要だと生徒が考え、やってみたら、お客様の数が増えた。生徒もPRの成果を感じたのではないかと。市役所のlineにも載せていただき、PRになった。

- ・子供を御前崎分校に入れたいと思ったのが、共生共育と部活動があるから。(入学してから)楽しんで学校に通っているのうれしい。地域販売会に向けて手工芸班で作った刺し子や農園芸(2年生)で作った物が売れてうれしかったと思う。何かを頑張り、それが売れるという、うれしい経験ができるので充実していると感じる。分校に来てよかった。

#### <学校経営計画の承認>

教頭：以上の経営計画を基に「チーム御分」で進めていきたいと考えている。ぜひ承認いただきたい。

運営委員：承認

#### (5) コンプライアンスについて

- ・交通事故、ハラスメント等、月ごとにテーマを設定して、グループ協議も行っている。
- ・教職員の出張前のアルコールチェックも確実に言い、事故0を目指している。
- ・働き方改革について、最終退勤時間を水曜日は午後5時30分、それ以外は午後7時に設定している。教職員の健康を踏まえ行っている。  
→時間外勤務について、R5年度は規定の時間に収まっている。一方で、持ち帰りの仕事(量)はあるので、仕事の削減方法を考えながら進めている。

#### <運営委員より>

- ・中部電力も定時退勤日が水曜日だったが。金曜日にしたら帰るようになった。
- ・家に帰ってからどのくらいやっているか。JAも水曜日を提示退勤日にしている。
- ・教職員により持ち帰る仕事の量に差ができるのではないかと。帰らせるのは、簡単だが、持ち帰りの量が課題。
- ・その日の内にこなさないといけない仕事があると遅くなると思う。時間内に終わらせるのは大変だと感じる。

#### (6) 連絡事項

- ・次回 運営協議委員会開催予定 令和6年2月7日(水) 午前10時から11時30分まで

#### <校長より>

人権感覚を大切に、元気、笑顔、夢の実現に向けて教育活動を行っているので、子どもの前に立つときに教職員が疲れていないよう、定時退勤をして持ち帰り仕事を少なくするのは必須である。このために、全てをコロナ前に戻すのではなく、ICTを上手に使い、シンプルにしながら充実させていくことが大事。大切なことは残し、精選すべきところは精選していく。このようにして進化させていきたい。

生徒が地域に生き、豊かに生きるためには地域の方の理解が必要なので、応援団になっていただきたい。